

排尿時膀胱尿道造影 (VC(U)G)

排尿時膀胱尿道造影検査は、特に膀胱尿管逆流の有無や程度を診断するために行われる検査です。この検査では、柔らかいシリコンのチューブなどで導尿を行い、そのチューブから造影剤（X線で写る薬）を水で薄めたものを入れていきます。膀胱が大きくなった時や、排尿中や排尿後の尿の通過の様子を X 線で撮影します。

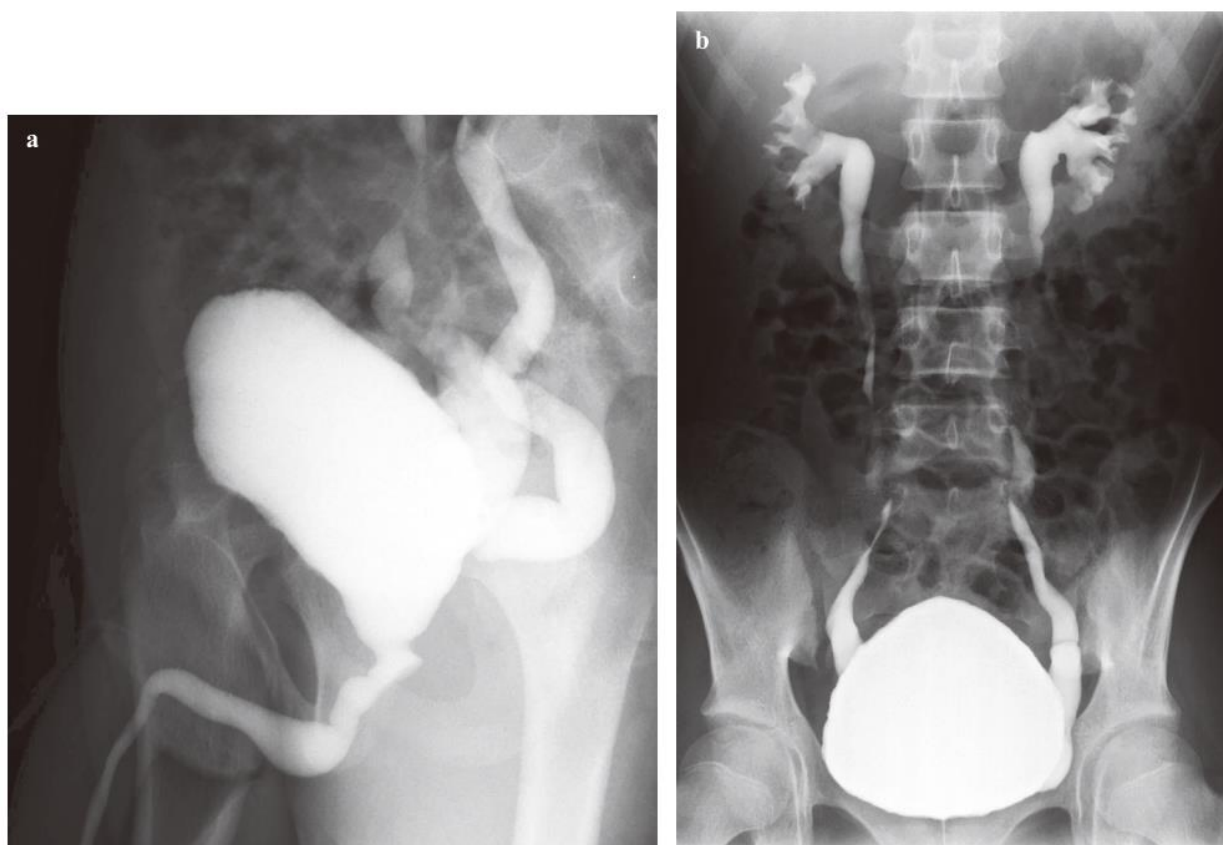


図 4 排尿時膀胱尿道造影 (VCUG)

- a : 排尿時撮影 (左前斜位) : 排尿と同時に、両側 VUR の出現を認める。明らかな尿道狭窄は認めない。
- b : 排尿後撮影 (臥位正面像) : 両側 VUR を認める。残尿を多く認める。

宮坂実木子：腎疾患の画像診断，小児腎臓病学 改訂第 2 版．日本小児腎臓病学会（編），p116，診断と治療社，2017